



子供に繪をお上げなさい

日向志

玩具の種類はさまざまありますが、子供の飽か  
ないといふ玩具と申すと、まことに少いので困りま  
す。宅でも、随分いろんな玩具を興へて見ました  
が、其中で一番長く續いて興味を持つて居りまし  
たのは、電車と涼車（客車や貨車を幾つも）聯  
ねるので、獨りで動く様にはなつて居ないもので  
した。尤も年齢は僅か三歳ですが、其他のは、ほ  
んの一時か半時、夫ともほんの見せた瞬間だけに

留つて其後は一向見向きもしません。

電車と涼車の他に、餘程氣に入つて居るものが

も一つあります。夫は繪の本であります。一つは  
動物、獅子や虎や象や馬などを一枚毎に色刷りに  
して書いて居ますので、他のは桃太郎さんのお話  
の繪であります。これが大層氣に入りました、動  
物の名前などは、一つ一つ覚えるとはなしに覚え  
て行つて、一枚一枚開けて見れば、一々その名前  
を言ひ當てるのが、この上もなく面白い様に見え  
て居ります。

こんな風ですから、子供の發達に相當した繪を選  
んで子供に興へますれば、子供に取つては大層結  
構な玩具となります上に、他の玩具から比べて見  
て又多少異つた効能もあります。そこで、どんな  
繪が宜しいかといひますと、小さい子供には、子

供の平素知つて居るものを描いてるのが、宜しい  
 ので、其中でも、犬とか猫とか馬とか鶏とか、雀鳥  
 とかいふ様なよく知つた動物などが宜しいので、  
 子供は美しい繪の中に自分の知つて居る面白がつ  
 て居るものを見附けるのが何よりも面白いのであ  
 ります。尤も多少成長くなつた子供ですと、平素  
 見られない虎や狼や獅子や、駱駝といふ様なのを  
 繪で見るといふことが面白くなつて來るのであり  
 ます。其他にも考へますれば、いろ／＼面白くつ  
 て、子供の爲になる畫題もあるのですが、我國で  
 は、他の玩具の發達して居ない様に、子供の爲の  
 繪といふものが、まことに發達して居りませんの  
 で、これは、一つは印刷がまだ十分甘くまいらな  
 いからでもあります、又一つは親達が其方にま  
 だ考へ及ばさない爲でもありません。今日の處で

は、緣日や小さい雜誌屋の店頭などに曝らされて  
 居る様な子供の爲の繪本は、畫題から、書き振  
 りから、印刷などが、まことに不味許りでなく、  
 色なぞと來ますと、とても顔向けのならない様な  
 俗悪なものなどがありまして、少し見られる様な  
 のは、品物の割合に價が馬鹿に高いのですから、  
 どうかして、都合の宜い子供の繪が出來て欲しい  
 ものだと思ひます。尤も大阪には、こんな目的か  
 ら、「子ども」といふ繪の雜誌がある相で、東京で  
 も「繪ばなし」といふのが出來ました、(讀書の槩參  
 照)一寸見た所では、大分氣を付けてこしらへて  
 居る様で、代價も品物から比べて決して高くはあ  
 りませぬ、まだ一號と二號としか見ませぬが、段  
 々材料などを注意して精選して行きますれば、先  
 づ吾々の望に沿ふ様なものになりませう。